

政務活動記録簿(研修会開催)

会派名 自由民主党

年 月 日	令和4年2月15日(火) 13:30~15:30			
場所	奈良県議会第一委員会室			
研修会名	奈良県議会議員新型コロナ対策議員勉強会			
相手方(人数)	県議会議員12名 理事者2人 市議会議員7人 県民11人			
開催目的	5歳から11歳の子どもを対象とした新型コロナワクチン接種に関する効果と副反応について、専門家による知見を学び政策立案に活かす事を目的とする。			
内容、結果等  ※研修会開催の効果を明記のこと	<p>講義「新型コロナウイルスとワクチン接種について」                  講師：大阪市立大学名誉教授、宮城大学理事・副学長、井上正康氏                  ※参加料無料                  井上名誉教授は、長年のウイルスとワクチン・免疫学の研究から今回のオミクロン株は弱毒となり圧倒的多数が無症状で経過する無症候性感染であり、亡くなっておられる方は免疫リスクや既往症のある高齢者が大半である。その事からハイリスクの方だけを集中的にケアすれば十分である。その様な高齢者を保護するために感染リスクが極めて少ない若者や児童にワクチンを接種する事は、医学的に言語道断であり極めて非常識であると述べられた。更にまともな医学教育を受けた医者がスパイク(コロナウイルスとワクチンに含まれている)が血栓毒であるという事実を知ればワクチンを打つのをやめるでしょう。若者には「打ってはいけない」と述べられた。                  今後、地方議員として児童へのワクチン接種はより丁寧な「リスクとベネフィット」の説明が必要である事が判明した。</p>			
開催に要した経費	項目	金額	内訳	領収書番号
	謝金	50,000	講師謝金(源泉・交通費込み)	113
	記録ビデオ撮影	33,000	ISテック VTR撮影編集	118
	合計	83,000 円(すべて政務活動)		
備考	添付資料：研修次第 研修資料 写真			

注 研修の次第や資料、会場の写真等を添付してください。

## 新型コロナ対策議員勉強会のご案内！

### 「オミクロン株とワクチンの効果と5歳児への接種について」

驚異的な早さで感染拡大している「オミクロン株」。この先、一体どうなるのか？ 5歳から11歳の子どもを対象とした新型コロナワクチン接種と、3回目のブースター接種が始まろうとしています。

オミクロン株の重症化は低いと聞くがどうか？ ワクチンの効果は？ 副反応は大丈夫なのか？ 本当に必要なのか？ と児童を持つ保護者からは、小学低学年へのワクチン接種の開始を歓迎する声と不安視する声が入り混じって寄せられています。

そこで、TV や新聞、YouTube でも決して聞くことのできないコロナ&ワクチンの真相について、「ためしてガッテン」や「世界で一番受けたい授業」等に出演された大阪市立大学医学部名誉教授：井上正康先生にわかりやすく解説していただき、気になるギモンを解明したいと思います。

2月議会に向かって、是非ご参加を頂きたくお願い申し上げます。

(記)

- 【日時】 令和4年 **2月15日** (火) 午後 **13時30分** ～ (受付 13時00分)
- 【場所】 奈良県議会2F 第1委員会室 ★ 出欠=**2月8日(火)まで** にお願ひ致します。
- 【返信先】 **FAX 0742-27-0379** ●【参加費】 無料 (終了予定 15:30)
- 【主催】 自由民主党会派
- 電話でのご出欠席及びお問合せは→ 0742-27-8952 (担当 : 植村佳史)
- 《井上正康先生プロフィール》



1945年広島県生まれ。1974年岡山大学院修了(病理学、医学博士)、1980年 Albert Einstein 医科大学内科学准教授、1982年 Tufts 大学医学部教授(分子生理学)、2011年大阪市立大学名誉教授、宮城大学理事・副学長、2013年健康科学研究所所長(産業医学)、2015年(株)キリンホールディングス取締役、2019年 FMT クリニック院長、現在、健康科学研究所現代適塾塾長。

●著書：『新型コロナ騒動の正しい終わらせ方』『本当はこわくない新型コロナウィルス～最新科学情報から解明する「日本コロナ」の真実』方丈社、『新型コロナが本当にこわくなる本 医学・政治・経済の見地から“コロナ騒動”を総括する』方丈社、『コロナワクチン幻想を切る』ヒカルランド、『コロナとワクチンの全貌』小学館、『もむだけで血管は若返る』PHP 研究所、他多数。

----- (そのままFAX下さい) -----

☆ 2/15 新型コロナ対策議員勉強会に

ご出席

ご欠席

○で囲んで下さい

お名前



# 医者いらず

健康長寿  
処方箋 95



健康科学研究所所長・大阪市立大学医学部名誉教授 井上正康

井上正康先生は、癌や生活習慣病を「活性酸素」やエネルギー代謝の観点と、地球や生命の歴史という大きな視野で研究されている国際的研究者です。現在、多くの府県師会主催の公開講座で講演され大好評を博しています。ぜひ貴師会でも!!  
ご連絡はURLより。http://www.inouemasayasu.net

WHOは2021年11月末に南アフリカでの新型オミクロン株の激増を警告し、日経新聞も12月5日に南アでの新規感染者が前日比で4割近くも増えている事を報じた。これまでは南アの主要な変異株だったデルタ(δ)株が、11月中旬には全検体でオミクロン株に置き換わっていた。各国政府は南アからの入国を速やかに制限したが、既にオミクロン株はイギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、チェコ、カナダ、オーストラリア、香港、日本を含む60ヶ国以上に侵入済み(11月15日現在)であり、「無症候性パンデミック」として世界中に拡散しつつある。スパイクに32ヶ所もの変異があるオミクロン株は、α、β、γ、δ株などと異なる変異系統であり、SARS-COV2 Sと同系統のCOV-229Eに同時感染した宿主で誕生したと考えられる。スパイクに多くの変異があるオミクロン株は、血管壁ACE2とは異なる感染受容体を新たに獲得し、スパイク蛋白の開裂部位に近いH655Y、N679K、P681Hなどの変異が感染増強に関与していると考えられる。世界の感染状況を分析すると、現在のワクチンは無効であり、逆に再感染や感染爆発を誘発する危険性が示唆される。幸いにもオミクロン株の感染者は大半が無症状であり、発症しても頭痛、咳や喉の痛み、倦怠感などの軽い風邪症状で経過して重症化する兆しは見られない。

新型コロナと呼ばれる様に、コロナには旧型も存在する。130年前にパンデミックとなったロシア風邪のウイルスが元祖コロナである。当時は14億人の世界人口で100万人が死亡したので大変な惨状であったが、速やかに集団免疫が確立され、ワクチンや特效薬も無かったのに僅か1年で自然収束した。以来、元祖コロナは130年間も人類と共存し、4種類の旧型コロナ集団へと変異しながら東アジアに生息し続けてきた。ロシア風邪の30年後にパンデミックとなったスペイン風邪は、カンザス州の兵舎で誕生した米国産インフルエンザであり、第1次世界大戦のヨーロッパへ飛び火して約1億人が死亡した。子供と高齢者のリスクが高いインフルエンザでは、死亡率が年齢依存性のU字型を示すが、米国の第2波では中央部(25~35歳)に不自然な高いピークが形成されて被害が増大した。これは政府により解熱剤のアスピリンを大量投与(~30g/日)され

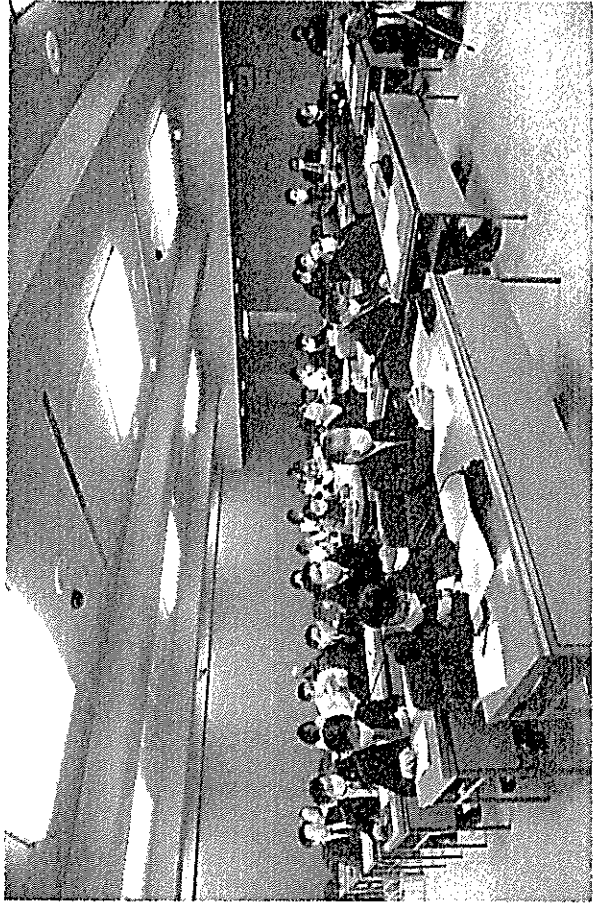
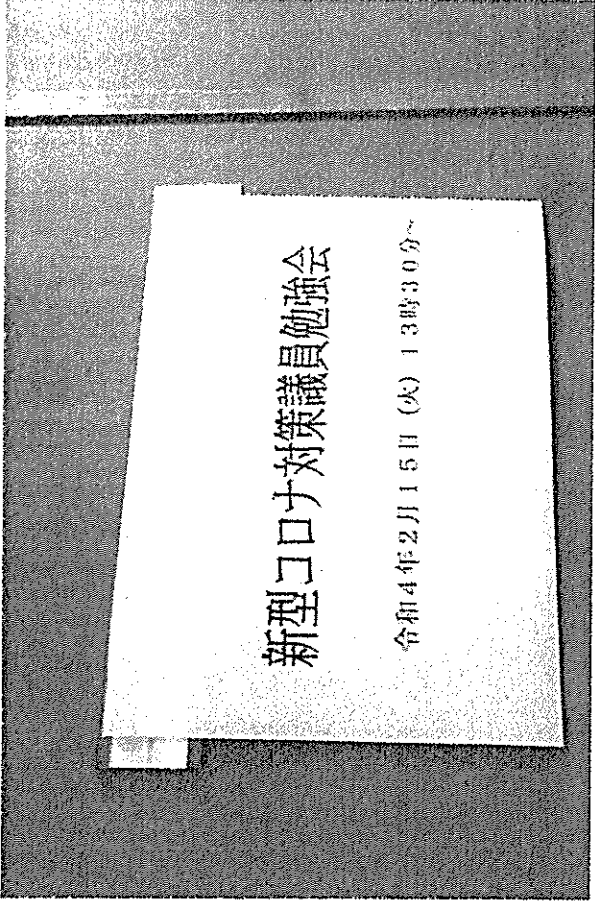
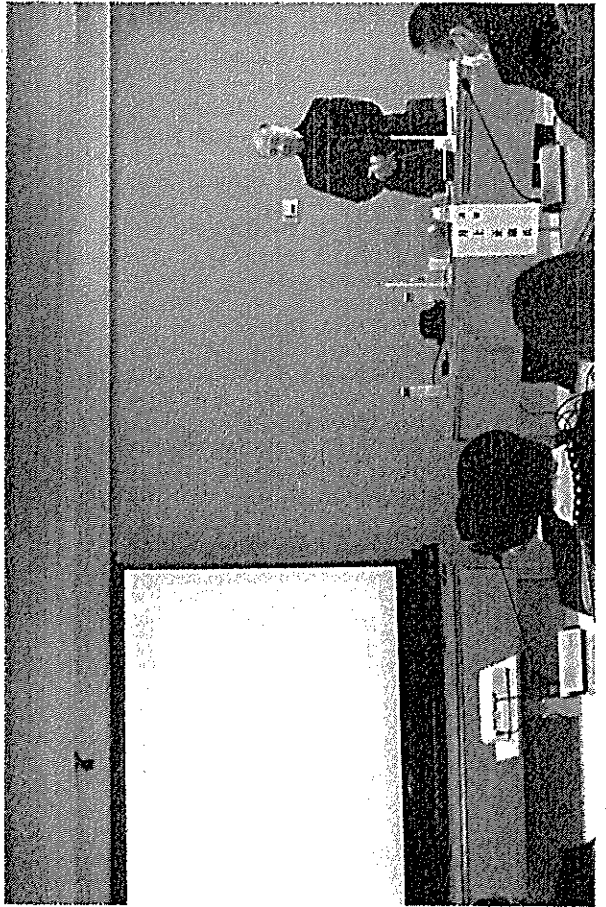
た兵士達が肺浮腫と呼吸困難で死亡した薬害であった。事実、アスピリンの大量投与が中止された翌年にスペイン風邪は速やかに自然収束した。今回の遺伝子ワクチンと同様に、政府の投薬介入がなければもっと短期間で自然収束したと考えられている。スパイクが血栓症、心筋炎、血管障害を誘起する毒蛋白である事が判明した今回の遺伝子ワクチンでも世界中で政府主導型の人災的副反応被害が深刻化している。経験の科学である医学は「自然感染による集団免疫の獲得が最良の処方箋である事」を教えている。感染症の歴史から学ぶべき事は「変異株へのシームレスで緩やかな感染が集団免疫力を獲得進化させて重症化や死亡率を抑制する事実」である。日本人は土着コロナによる毎年の免疫軍事訓練に加え、19年暮から翌年2月までに大量の中国人旅行者と共に入国した弱毒武漢株に無症候性感染して強力な集団免疫力を獲得していた。その直後に政府チャーター便で帰国した日本人が持ち帰った強毒G型株で第1波が始まったが、ウイルス干渉でインフルエンザが激減した事と集団免疫力が「神風」となり、20年度の日本人超過死亡数は世界一低く抑えられた。その後2021年夏までに5回ものPCR陽性波に曝露された日本人は、「新型コロナ変異株の生ワクチン」を6回も接種したのと同等の免疫力を獲得更新している。最近、理化学研究所が「新型コロナ未感染者」の約6割に新型コロナと反応するキラーT細胞が存在する事を報告した。これは「変異株に何度も無症候性感染して集団免疫を獲得した事実」を示す揺るぎない証拠である。

感染力が増したオミクロン株が「世界中で「無症候性パンデミック」となりつつある事実は、新型コロナが「感染力の強い普通の風邪」に進化したことを意味し、新年が「コロナ騒動終息の幕開け」になる事を示唆している。メディアや自称専門家のインフォデミックに煽られて政府や国民が過剰反応しなければ、日本でもポストコロナ時代の清々しい年明けを祝う事が可能である。インフォデミックと視野狭窄のコロナ脳が無意味な人流抑制政策とワクチンヒステリーを暴走させた人災的困難で多くの生命と生活が奪われた。この「失敗の本質」を俯瞰的に反省し、新時代に相応しい死生観を再構築する新年となる事を願ってやまない。



## 「感染症の歴史とコロナ禍の終焉」





政務活動費備品台帳 (令和3年度)

番号	名称	規格・機種	数量	取		得		処 分 の 状 況			保管場所	備考 (購入先)
				単価 (単位:円)	取得金額 (単位:円)	年月日	価格	処分の内容	年月日			
1	デスクトップパソコン	富士通 FMVD500KP	1	231,000	231,000	令和3年10月7日					自民党控室	株式会社カギオカ
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
令和3年度計				1	231,000							

- 注
- 1 1件の取得価格が3万円以上(消費税込み)の備品等の財産を取得した場合、この台帳に記入するものとする。
  - 2 年度ごとに集計し、政務活動収支報告書とともに議長へ提出することとする。
  - 3 購入単価(税込)は上限10万円とする。(ただし、パソコンを除く。)
  - 4 処分の内容欄には、売り払い、廃棄処分等別に記入すること。
  - 5 備考欄には取得の相手方又は処分の相手方等を記入すること。
  - 6 保管場所を明らかにし、現物確認ができる状態とすること。